



笠間市交通安全母の会

さくら

第14号

発行日 令和2年5月26日
発行 笠間市交通安全母の会
発行人 安達 あき子

飲酒運転撲滅キャンペーン



令和元年7月19日 山路にて

笠間市交通安全母の会

会長 安達 あき子

令和になり初めての「さくら」を、皆様方のご協力のもと発行できまことに感謝申し上げます。

私たちは、「交通安全は家庭から」を原点に活動を進めさせていただいております。

令和元年度は、交通死亡事故が笠間警察署管内6件（笠間市内5件）発生し、とても胸が痛い年となりました。

母の会会員も高齢者の方の家庭を訪問させていただき、悲しい思いをする方が無くなるように、引き続き啓発活動を継続していきたいと考えております。

そのほか、小さなお子様から小中学生と、幅広く大切な命を守るお手伝いを今後も続けて参ります。

私も、会長の職をいただき2年が過ぎ、県の方々、市役所の方々、警察署の方々から学び支えられて進んできましたが、会員の皆様からみて、会長としての活動が出来たのか不安が残る一年でした。

また、本年度は、「茨城国体」のお手伝いが出来ましたが、会員一人一人良い経験が出来うれしい年でもありました。

今年も皆様方のご協力をいただき、活動を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

警察官と一緒に

6/10 こじか幼稚園



7/4 いきいき通所(友部)



10/15 いきいき通所(岩間)



1/29 かさまこども園交通安全教室



令和元年度決算報告

収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	1,825,600	1,829,100	3,500	18,291戸×100円
助成金	200,000	200,000	0	市補助金
交付金	36,000	37,052	1,052	県交母連
雑収入	315	6	△309	預金利子
繰越金	38,085	38,085	0	前年度繰越金
合計	2,100,000	2,104,243	△4,243	

支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費	1,830,000	1,721,579	△108,421	啓発品・会報紙 新生活黄色傘 その他
会議費	30,000	56,317	26,317	総会・役員会
事務費	50,000	8,665	△41,335	通信費・その他
負担金	115,000	112,608	△2,392	県交母連・その他
研修費	50,000	175,001	125,001	バス・高速代・その他
雑費	20,000	5,000	△15,000	慶弔費
予備費	5,000	0	△5,000	
合計	2,100,000	2,079,170	20,830	

収入合計 2,104,243円 支出合計 2,079,170円
 差引残高 25,073円(次年度へ繰越)

令和元年度活動報告

4月	新学立哨 茨城路一斉立哨 交通安全教室(～3月)	9月	秋の全国交通安全運動キャンペーン
5月	学校区委員説明会 笠間市交通安全母の会総会	10月	ふるさとまつりキャンペーン
6月	「さくら」第13号発行	11月	交通安全高齢者自転車大会
7月	夏の交通安全運動 交通安全子ども自転車大会	12月	年末の交通事故防止県民運動 キャンペーン 飲酒運転根絶のための 県下一斉広報啓発活動
8月	かさまのまつりキャンペーン	1月	後継リーダー養成研修会

新役員紹介

会長	安達 あき子	監事	友部 文江
副会長	川松 艶子	監事	和田 順子
副会長	友部 順子	理事	須藤 とし子
書記	富田 文子	理事	馬場 眞弓
会計	井坂 典子	理事	森 隆子
		理事	笹島 圭佐子

交通安全県民運動年間スローガン

道わたる ゆっくり老人 待つ余裕



高齢者安全教室

今年、八十歳の誕生日を迎え、いよいよ免許証返納が近づいた感があり、人生寂しい気持ちになった。
 交通ルールを自分なりに十分気を付けているつもりでいるが、相手があることを留意しなければならぬと痛切に感じる。
 私は、スタート時に指差し呼称の励行に努めていけば間違い操作を早めに気付くことが出来る。
 交通事故を起こさず家庭も周囲も安泰でありたい。

ぶ… ブレーキ
 た… タイヤ
 は… 反射材
 しゃ… 車体
 べる… ベル



道路交通法改正により 罰則強化

運転中のスマホ使用

反則金が6000円から18000円に引上げです!!!

運転中のスマホ等利用に対する罰則強化の内容

運転中にスマホ等を使用	携帯電話使用等(保持) ▶ 通話(保持)、画像注視(保持)する行為	罰則	6月以下の懲役又は10万円以下の罰金
		反則金	大型…2万5千円 普通…1万8千円 二輪…1万5千円 原付…1万2千円
		点数	3点
さらに事故を起こした	携帯電話使用等(交通の危険) ▶ 通話(保持)、画像注視(保持)、画像注視(非保持)することによって交通の危険を生じさせる行為	罰則	1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
		反則金	適用なし (反則金制度の対象外となり、すべて罰則の対象に)
		点数	6点(免許停止)

新一年生へ進呈!

透明ジャンプ傘

令和元年度 茨城県交通安全ポスター作品コンクール

【最優秀賞(茨城県知事賞)】
 茨城県立笠間高等学校 2年 薄井 愛奈

【優秀賞(茨城県教育委員会教育長賞)】
 笠間市立笠間小学校 6年 谷田部 つかさ
 笠間市立友部中学校 1年 村瀬 絢香

令和元年度「交通公園に行って」の感想文受賞者

笠間市立みなみ学園 義務教育学校 4年 仁平 彩海
 笠間市立穴戸小学校 4年 矢作 亮人

TOPICS!

8/17 かさまのまつり



9/20 秋の全国交通安全運動



10/19 ふるさとまつり



1/29 かさまこども園交通安全教室



去る11月7日に東日本大震災の被災地の一つでもある石巻へ視察研修に行きました。

現地ではボランティアのガイドさんと一緒にバスに乗ってもらい、当時の様子や現在のことなど、説明して頂きました。バスから見る風景は大分復興され、大きな建物が建ち、活気が戻っていること、まだ、通れない道路もありましたが、人間の力強さも感じる事が出来ました。ガイドさんから、当時の大地震の激しい揺れによって引き起こされた津波は、太平洋側の沿岸部に押し寄せ、石巻市も甚大な被害を受け、死者、行方不明者が多く出て、多くの尊い生命が失われたそうです。そして、震災の教訓を受け、津波に備え、



編集後記

今回さくら14号を発行できました事を皆様に感謝しお礼申し上げます。

〔編集担当〕
安達あき子・川松 艶子
井坂 典子・友部 順子
富田 文字

(編集委員)

既存の民間施設や復興住宅を活用した津波避難ビルや、沿岸部に津波の被災を想定し、下層部が空洞になった津波避難タワーを設置したそうです。

石巻市南浜地区は、大震災の津波と火災の延焼により、多くの方が犠牲になり多くの方が移転し、住宅は建てられないことになったそうです。そして、この地区にみんなが集まれる公園「石巻南浜津波復興祈念公園」を計画しているそうです。テレビでよく見る「がんばろう石巻」の看板がありました。この看板には、津波に負けない、人を励ましたいという思いで作成し設置されたそうです。さらに、この地域を襲った津波の高さを示すポールもあり、震災を風化させない復興に向かう強い思いが伝わってくる場所でもあることを知りました。

いつ起こるか分からない自然災害などに備え、家庭で取り組むべき対策をしっかりとしていく必要があると思います。

(J・T)